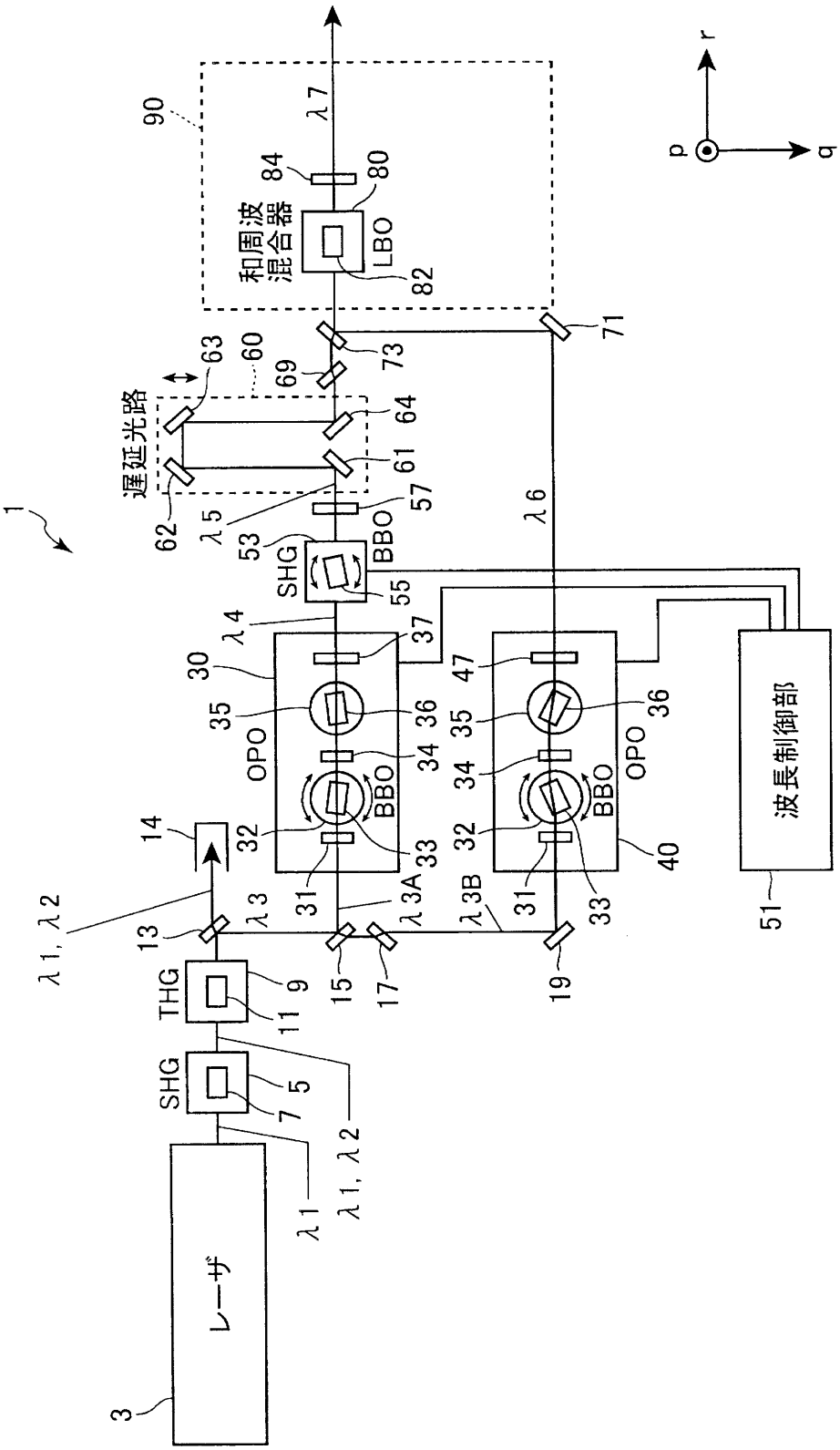
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公開番号】特開2009-53597(P2009-53597A)
【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-010
【出願番号】特願2007-222373(P2007-222373)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｆ　1/37　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｆ　1/37

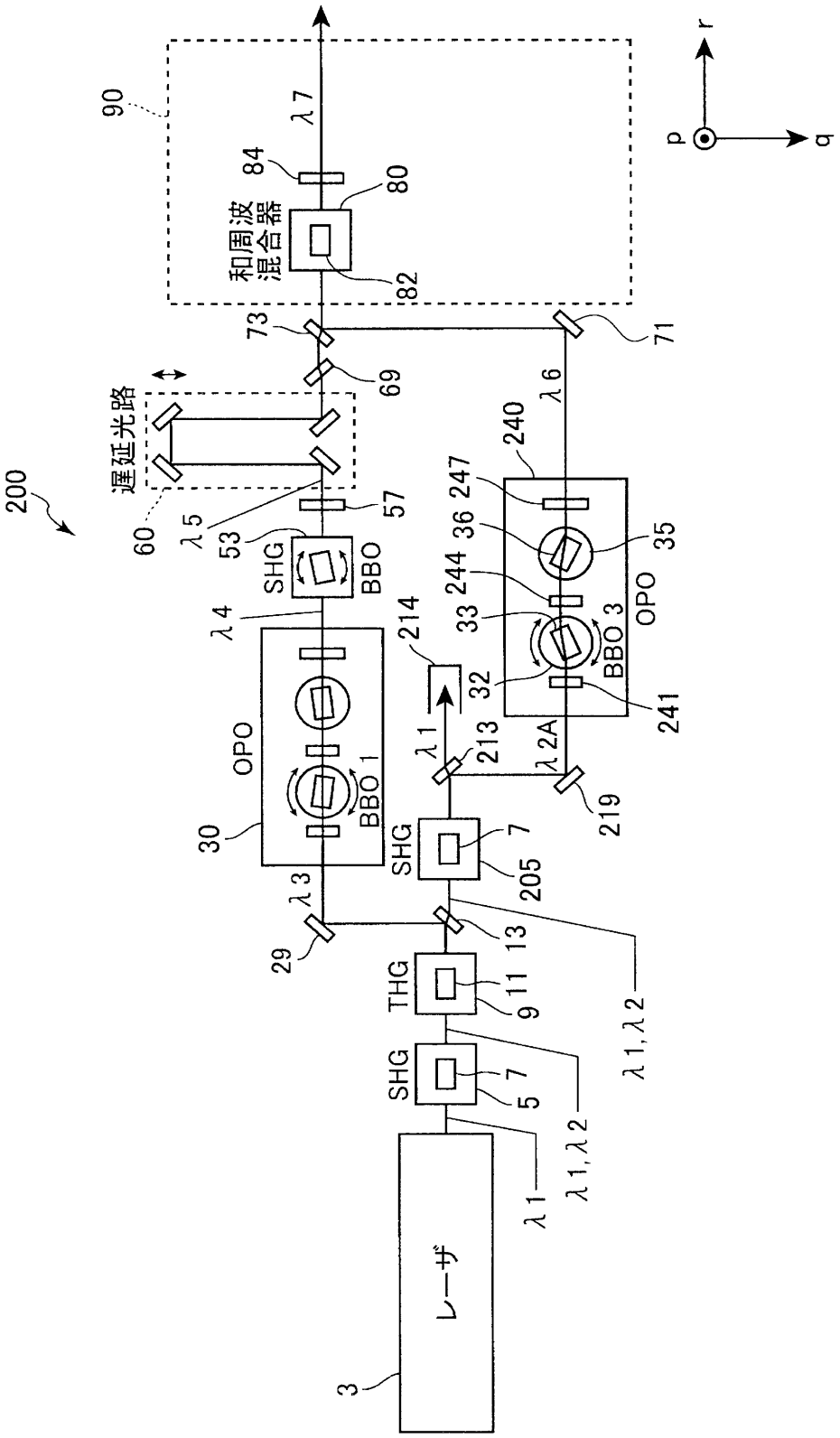
【手続補正書】
【提出日】平成22年9月15日(2010.9.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７４】
このとき、上述のように、ＢＢＯ結晶５５からの出射光λ５は２０５～２３５ｎｍの範囲内の波長を有し、ＯＰＯ４０からの出射光λ６は約１９８８～２０９０ｎｍの範囲内の波長を有している。図６には、上記範囲の波長の光がＬＢＯ結晶８２に入射した場合に和周波混合により生成される光の波長λ７を、２．５ｎｍごとに示している。ここで、図６における波長λ５と波長λ６との組み合わせは、位相整合条件θ＝φ＝０を満たしている。また、図６には示していないが、例えば、第１の実施の形態におけるシグナル光λ４の最小波長とアイドラ光λ６の最大波長との組み合わせとなるλ５＝２０５ｎｍ、λ６＝２０９０ｎｍの光が入射するとき、ＬＢＯ結晶８２での和周波混合により、λ７＝１８６．７ｎｍの光λ７を出射する。このように、位相整合条件θ＝φ＝０においてλ７＝１８６．７ｎｍから少なくともλ７＝２１０ｎｍまでの波長範囲の光λ７が、表に示したλ５、λ６の組み合わせを含む１／λ７＝１／λ５＋１／λ６を満たす波長の組み合わせにより出力される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１】



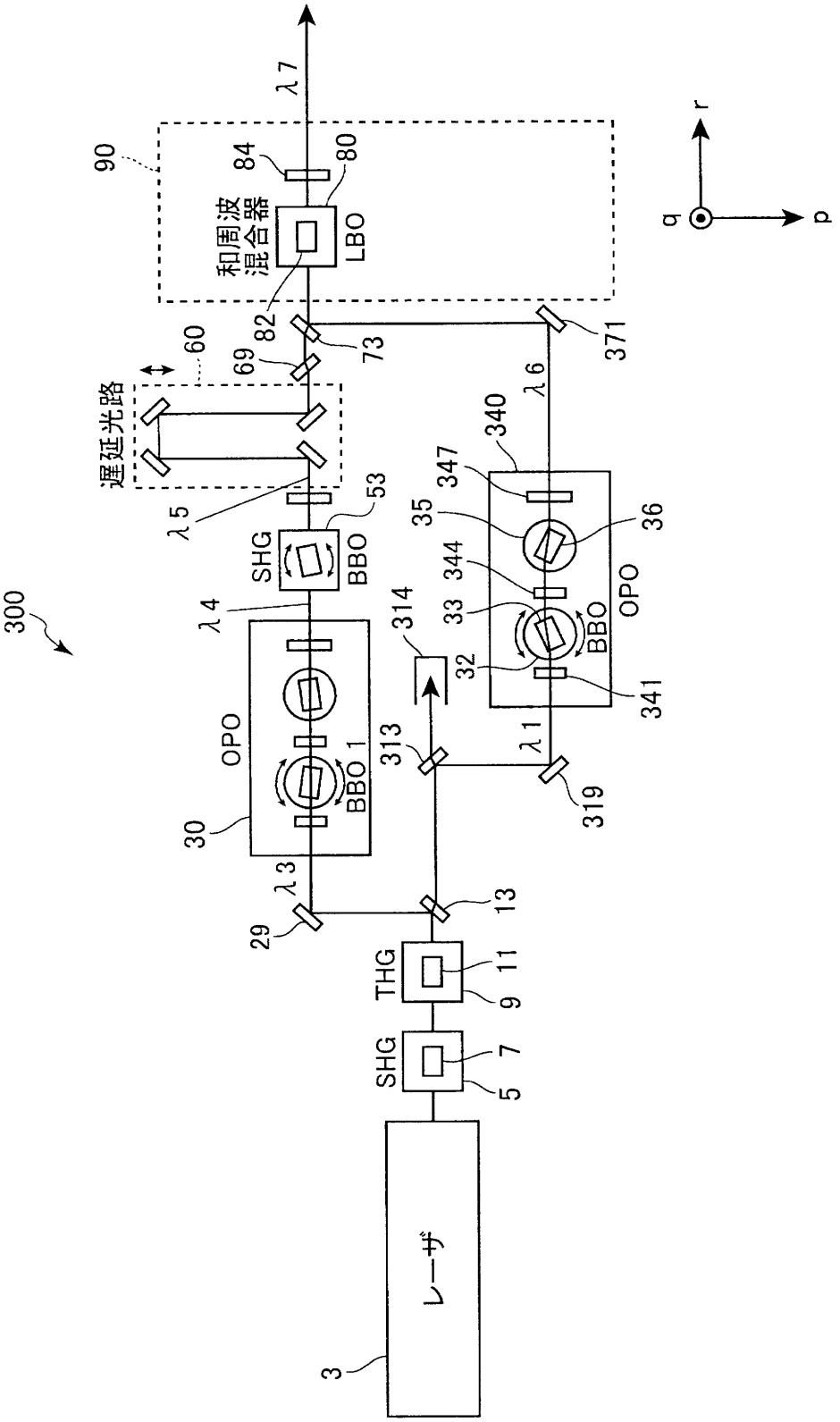
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１１】



【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図１３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図１３】


300
レーザ
3
SHG
5
7
THG
9
11
13
29
λ3
OPO
30
BBO 1
λ4
SHG
BBO
53
λ5
遅延光路
60
69
73
82
和周波混合器
LBO
80
84
90
λ7
371
λ6
340
347
35
36
344
33
32
341
OPO
BBO
λ1
319
313
314
q
r
p